


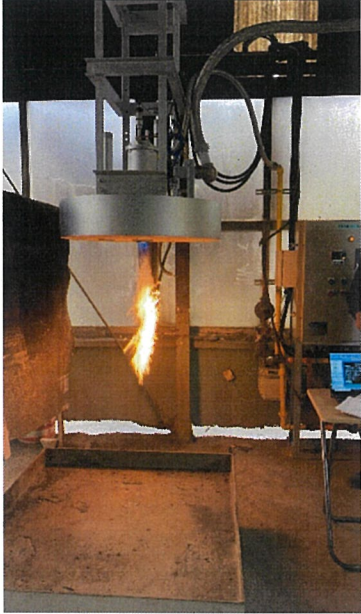
A社様 予熱装置導入事例

概要

主に取鍋パッチング補修後の乾燥に使用

社内試験を行い乾燥時間の短縮、受湯前の再加熱を無くすことが可能と判断し導入

省エネ性の比較

	旧バーナ予熱	新規取鍋予熱装置
使用方法	取鍋パッチング補修後の乾燥 乾燥のみ行い、受湯前予熱は誘導炉前に設置してある別のバーナを使用して 受湯直前に再予熱	取鍋補修後の乾燥、受湯前予熱 受湯時間を逆算し、乾燥を兼ねた予熱を2時間30分実施 バーナに自動点火、消火機能を搭載
外観		
性能比較	排熱回収	×
	熱放散	△
	燃焼性	○
燃焼データ	Hi燃焼	118,000 kcal/h
	Low燃焼	—
ガス使用量	4.2 m ³ /h	2.6 m ³ /h
加熱時間	3時間10分	2時間30分
省エネ率	基準	51%

※ガス種：LPG（ブタン）発熱量：28,000kcal/h で計算。

※他の用途でのガス使用量（省エネ率）は加味していません。

考察

旧バーナ予熱と比較して予熱時間を40分短縮

さらに再予熱を省略することが可能となり、作業人工や時間、ガス代の削減に繋がっている。

制御をHi-Low制御にしている為、設定温度（1000℃）に達した場合は設定温度で制御します。